

“胸キュン”を名作から徹底解剖！

キャラクター **モチーフ** **ストーリー** の3つの軸で“胸キュン”の構造を解説
『胸キュンの教科書』 7月21日発売

早稲田大学で学生が選ぶ“面白い授業No.1”になった、伝説的な講義で知られる柿谷浩一氏の初単著『胸キュンの教科書』を2023年7月21日（金）に発売します。

ラブストーリーが好きな人、ドラマを何度も観返してついつい深読みしてしまう「視聴者」、物語やキャラクターの「作り手」になりたい人……。 “胸キュン”が気になるあなたに役立つ知識をぎゅっと詰め込みました。「ドラマ『5→9』の高額さんは、なぜあんなに魅力的なキャラなんだろう？」 「『あすなる抱き』が、伝説として今も語り継がれる訳はなんだろう？」 「『壁ドン』をどんな描き方をすれば、より上質な刺激や感動が生まれるんだろう？」など、みんなの胸キュンに関する疑問にも、さまざまな答えを提案する一冊です。

そもそも『胸キュン』って何？ 何にどうキュンとしてるの？ 「『頭ポンポン』『バックハグ』など、定番アクションがもたらす効果とは？」 「作中人物（と読み手）がキュンとするキャラクター性とは？」 といったさまざまな胸キュン要素を「キャラクター」「モチーフ」「ストーリー」の3つの軸で、解説。名作と呼ばれる恋愛ドラマや映画をベースに、著者独自のポップな分析が光り、作品を知らない人でもわかるように、シーンの面白さも合わせて伝えます。

『胸キュンの教科書』

著者：柿谷浩一

定価：1430円

発売日：2023年7月21日

【目次一部】

第1章 キャラクター論

ドSキャラの「パワーワード」劇 —— 『恋はつづくよどこまでも』

最強ヒロイン・紗絵子さんの“可愛さ”の根源（ルーツ） —— 『失恋ショコラティエ』

第2章 モチーフ論

「頭ポンポン」の忘れもの、未然形と否定形のキュン —— 『風のお暇』『初めて恋をした日に読む話』

「不意打ちキス」は美しく…… —— 『中学聖日記』

第3章 ストーリー論

“身体”のキュン劇、告白も振るのも〈全力〉で…… —— 『ひるなかの流星』

弱き者のキュン、“あすなる抱き”の秘儀 —— 『あすなる白書』

『ブザー・ビート～崖っぷちのヒーロー～』『近キヨリ恋愛』『消えた初恋』

『花束みたいな恋をした』『silent』などを題材に、胸キュンについて徹底解説しています。

この一冊が、あなたの胸キュンを考える「きっかけ」や「たたき台」になればと願っている。そんなシンプルな思いがすべて。そこに、作品の視聴者はもちろん、胸キュンを考えてみたい方、シーンを深く観るのが楽しい方、あるいは作り手になろうという方も、広くふくまれたら素敵だ。

本書のきっかけの一つは大学の講義。そのエッセンスも入れた〈講義の再現〉的なことも一部意識したが、原則オリジナルの書き下ろし。ではレッスンを始めますね。

（「はじめに」より）

Amazonでの予約購入で
「書き下ろし原稿PDF」がもらえる
キャンペーン実施中！

著者：柿谷浩一（かきたに・こういち）

著者の取材・出演ご相談ください！！

1979年、富山県生まれ。ポップカルチャー研究者。全集協力などの文学研究・書誌学のかたわら、ドラマ賞の審査員を歴任するなど、テレビドラマ考察も手がける。早稲田大学第二文学部卒業。同大学大学院文学研究科に進学後、同大学文化構想学部助手を経て、現在早稲田大学ほかで無期非常勤講師、早稲田大学総合人文科学研究センター招聘研究員。

著者Twitter @prince9093